

東北復興支援のための音楽会

『笑う男』

シネ・コンサート

演奏：フランス八重奏団 (L' Octuor de France)

作曲・指揮：ガブリエル・ティボドー オリジナル曲

公演日程：

- 2015年5月31日(日)：新潟県民会館小ホール
開場 13:30 開演 14:00
お問い合わせ/チケット：025-223-1200
- 6月1日(月)：吹田メシアター中ホール (阪急線：吹田下車またはJR吹田下車)
開場 18:30 開演 19:00
お問い合わせ/チケット：06-6380-2221
- 6月2日(火)：奈良市・学園館ホール (近鉄線：学園前下車)
開場 18:00 開演 18:30
お問い合わせ/チケット：0742-51-2001
- 6月3日(水)：京都府民ホール ALTI (地下鉄烏丸線：今出川または丸太町下車)
開場 18:00 開演 18:30
お問い合わせ/チケット：075-441-1414
- 6月4日(木)：さいたま市・彩の国さいたま芸術劇場小ホール
(埼京線：与野本町下車)
開場 18:30 開演 19:00
お問い合わせ/チケット：048-858-5500
- 6月5日(金)：釜石市立双葉小学校 体育館
開場 18:00 開演 18:30
お問い合わせ/チケット：080-5558-3843 (山崎興行)
- 6月6日(土)：大船渡リアスホール
開場 13:30 開演 14:00
お問い合わせ/チケット：0192-26-4478
- 6月7日(日)：宮古市民文化会館
開場 13:30 開演 14:00
お問い合わせ/チケット：0193-63-2511

入場料/当日券：3,000円 前売り：2,500円 学生：1,800円 東日本大震災被災者：無料
*各会場とも駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用いただくようお願い致します。
*各会場の休館日・窓口受付時間をご確認ください。

チケット予約受付：フランス八重奏団による『笑う男』シネ・コンサート実行委員会
事務局：三村 kmcrescendo0544@gmail.com
チケット完売の場合、当日券の販売は致しません。ご了承ください。

主催：フランス八重奏団による『笑う男』シネ・コンサート実行委員会

助成：笹川日仏財団

後援：外務省

在日フランス大使館 / アンスティテュ・フランセ日本

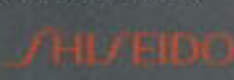
協力：NPO ガバチョ・プロジェクト、宮古市芸術文化振興に資する会

新潟・フランス協会、パリ日本文化会館初代館長・磯村尚徳 (元 NHK)

宮古市教育委員会、大船渡市教育委員会、釜石市教育委員会

埼玉映画ネットワーク、マツダ映画社、アメリカヤ菜器店

協賛：Galerie J.Point (パリ)、西村書店、ヴィルトゥオーゾ



ユニヴァーサル超特作映画

笑う男

The Man Who Laughs
Recreated by
Carl Laemmle

数島倶楽部



企画趣旨：この企画は「東北被災地復興支援のための音楽会」の一環として、『笑う男』の上映、演奏会を開催し、被災者の方々をはじめ、日本が元気になって明日に向かって希望と明るい社会の建設に寄与しようというものです。

寄付金の募集：個人・一口 2000円 (出来れば二口以上をお願いします)

法人・一口 50000円 (出来れば二口以上をお願いします)

お問い合わせ：kmcrescendo0544@gmail.com

パウル・レニ監督作品 (1928年)、無声映画「笑う男」

ヴィクトル・ユーゴ原作

ガブリエル・ティボドー作曲・指揮 オリジナル曲

演奏：フランス八重奏団

無声映画「笑う男」のあらすじ：

17世紀のイギリス、公爵の一人息子であったグウィンブレイン少年は、時の王に背いた父への報復として、王の命令で顔に笑いを刻まれて捨てられる。雪の中をさまよう少年は、途中保護した盲目の赤ん坊と共に旅の興行師に助けられる。10数年後、今は「笑う男」として人気を博すグウィンブレインは、成長した娘デアと相愛の仲だが、自分の顔のことを負い目に結婚を申し込むことができない。故郷の町に興行にやって来たグウィンブレインの存在を知った現女王の側近は、彼を利用して女王の荷立ちの種である傲慢な女伯爵を陥れようと企てる。そうとは知らぬこの女伯爵は、特異な顔を持つこの道化師に魅せられ、誘惑しようとする。側近の計略によりグウィンブレインは逮捕され、義父とデアにその死が告げられる。追放処分を受け、失意のうちに町を出る2人。一方、女王は貴族たちの前でグウィンブレインと女伯爵の婚約を発表する。驚いたグウィンブレインは逃亡し、デアたちが出航する波止場へと走る。そして彼に味方する群衆の助けで間一髪追っ手を振り切ったグウィンブレインは愛する家族と共に国外へ去って行く。

(Ms. まあしゅの思索の旅・田澤稲舟 (たざわいなぶね) から抜粋)

解説：

「私はこの作品より優れた小説を書いたことがない」(ヴィクトル・ユーゴ)

笑うことがなかった17世紀の英国。政治的、社会的無秩序が大手を振った時代だった。

大文豪ヴィクトル・ユーゴ(1802-1885)は、この時期の英国を「笑う男」というアイロニーなタイトルの長編小説に盛り込んだ。

この小説の土台には、ナポレオンのクーデターに抵抗して英国に逃れ、約20年間、亡命生活をした作者の体験があった。作者が「この本よりも優れた小説を書いたことがない」というほど愛着を示した作品で、2005年にフランス政府が必読書にした。

(東亜日報から抜粋)



フランス八重奏団：

「フランス八重奏団」は18世紀から今日までのクラリネットによる音楽を紹介することを目的に、クラリネット奏者ジャン・ルイ・サジョにより25年前に設立されました。ライシャ、ウェーバー、シューベルト、モーツァルト、ブラームス、ハイドン、フランセ、ランドウスキー、パッサなどの曲をCDに録音しています。また無声映画の復興を目的に、無声映画の伴奏用に同楽団のために特別に書かれた曲を携えて、カンヌ映画祭やボローニャ映画祭など多くの映画祭の暗れの舞台に立ちました。因みに、東京出身のヴァイオリニスト長沼由里子が「フランス八重奏団」の第一ヴァイオリンを務めています。

名古屋駅前店 地下鉄東山線名古屋駅1番出口隣
京都四条烏丸店 四条駅・烏丸駅24番出入り口より1分
五反田オーヴン (京都市下京区烏丸町 52 イヌイ四条ビル5F)

VIRTUOSO | VIOLINS

ヴァイオリンエキスパート
(弦楽器直輸入販売・修理・修復)

<http://www.virtuoso.co.jp/>



芸術の都
パリ大図鑑
建築・美術・デザイン・歴史

ペレーズ・ド・モンクロ 著
三宅理一 監訳
●B4変型判・712頁
●本体6,800円

パリが「ルテティア」と呼ばれていた古代から、中世、ルネサンス、絶対王政、革命、世紀末、モダニズムを経て現在にいたるまでの2千年に及ぶ、美術工芸、建築、都市の歴史を、豊富なカラー図版とともに解説。

西村書店 千代田区富士見 2-4-6 ☎03-3239-7671
www.nishimurashoten.co.jp (税別)



パリの街並みと暮らし
知られざる魅力

M・ル・ゴアジウ 著 シ・エルツォーグ 絵
前巻美知子 訳
●B4変型判・120頁
●本体1,900円

住まいのタイプから、広場、メトロ、マルシェ、またはパリジャンのバッグまで、パリジャンの生活と切り離せない59のテーマを、美しいカラーイラストをまじえて解き明かす。

●世界的ベストセラー！
窓から逃げた
100歳老人
ヨナス・ヨナソン 著
榎原 真紀子 訳
●四六判・416頁
●本体1,500円

